

多雪重粘土地において植栽樹木の成長を向上させるには —植栽樹種と土壤改良手法—

緑化樹センター 緑化G 棚橋生子
林業試験場 森林環境部 環境G 真坂一彦 佐藤弘和 元環境G 福地稔
道東支場 佐藤孝弘

背景

- 多様な場所での樹木植栽
- 企業や団体の森づくり
- 事業跡地の緑化復元



目的

多雪重粘土地での植栽樹木成長の向上のために樹種選択と土壤改良に関する具体的な知見を得る。

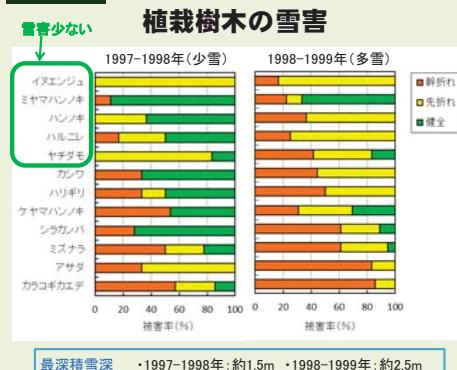
樹種選択

-方法-

試験地
当別町 青山中央地区
(過去に水田利用)
植栽
時期: 1997年5月
樹種: 12樹種
配置: 列間・苗間1m
土壤処理: なし



-結果-



結論

樹種選択

多雪重粘土地に適した樹種

- ハンノキ
- ミヤマハンノキ
- ケヤマハンノキ
- イヌエンジュ
- ヤチダモ

土壤改良

土壤と植栽樹木成長の改善効果

盛土 改善効果大
土壤…硬さと水分条件改善
植栽樹木…成長改善効果大

重粘土地での樹木植栽における生育向上に寄与

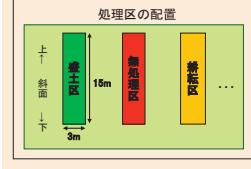
人為的改変により理学性が悪化した場所への植栽にも応用可能

課題…より多様な樹種での検討が必要

土壤改良

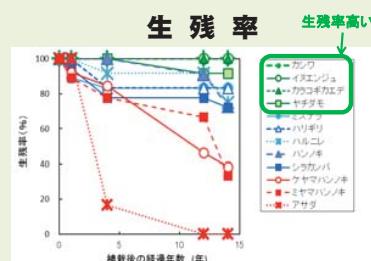
-方法-

試験地
当別町 神居尻地区
試験地設定
試験地造成: 2009年5月
植栽
時期: 2009年5月
樹種: コバヤマハンノキ
本数: 10本/1処理区 × 3回反復
配置: 列間・苗間1m
土壤処理: なし

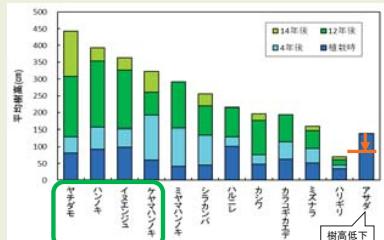


生残率

生残率高い



樹高成長



-まとめ-

多雪重粘土地に適した樹種

樹種	生残率	樹高	雪害	樹種	生残率	樹高	雪害
ハンノキ	○	○	○	イヌエンジュ	○	○	○
ケヤマハンノキ	○	○	○	ヤチダモ	○	○	○
ミヤマハンノキ	○						

樹高と胸高直径



樹高 : 無処理 < 耕転 < 盛土
胸高直径 : 盛土 > 耕転 > 無処理

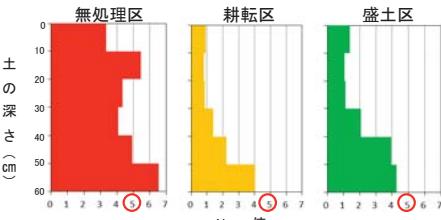
-結果-

土壤の透水性と三相比率

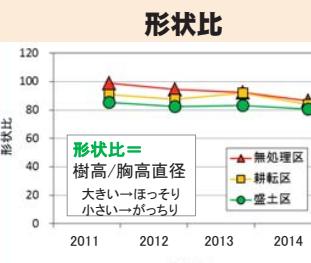
区分	透水性 (cm/sec)	土壤三相		
		固相	液相	気相
土壤処理試験地	8.4×10^{-5}	43.79	49.32	6.89
重粘土水田 (要排水対策)	5.0×10^{-5}	—	—	—
森林土壤(表層)	—	20~35	20~60	15~45

水を通しにくく、土中の空気が少ない重粘土

造成時の土の硬さ (Nc値)



盛土区・耕転区では土の硬さ改善



形状比

形状比



雪害発生数

盛土 > 耕転 > 無処理

無処理 = 耕転 > 盛土

-まとめ-

土壤改良効果大

-土壤-

盛土	耕転	無処理
硬さ ↑↑	↑↑	→
pF値 ↑↑	↓↓	→
耕転区: pF値が低い →過湿化		

盛土処理の
土壤改良効果大

-植栽樹木-

成長向上

盛土	耕転	無処理
樹高 ○	○	△
胸高直径 ○	○	△
雪害 ○	△	○
形状比 ○	○	△

植栽樹木の成長向上